

デコイチ観光資源 魅力アップ活動



神戸・西元町のデコイチを守る会
みなと元町タウン協議会・神戸ホストライオンズクラブ・株式会社聚楽・神戸麦酒・株式会社喜一

NPO法人あいあいネット神戸（神戸・西元町のD51を守る会）

代表理事 木村 由巳子

地域の福祉活動を行うとともに、ユニバーサルデザイン化を進め、地域住民のみならず、世代を超えたすべての人々にとって、住みやすく暖かい愛のあふれる地域づくりを目指し、2001年12月に発足、2002年10月1日、兵庫県よりNPO法人（特定非営利活動法人 NO.261）としての認証を受けた福祉系まちづくりのNPOです。20年経ちました。

目的及び事業

高齢者、障害者及び子どもたちにやさしく住みやすいまちづくりや地域福祉の向上に貢献するとともに、そのために必要な調査、検証及び提案活動を行うことで地域のユニバーサルデザイン化の達成に寄与することを目的とし、次の事業を行っています。

- ①地域拠点型一般介護予防事業
- ②まちづくりのための地調査、検証及び提案事業
- ③退職高齢者の社会貢献制度開発事業
- ④その他目的達成に必要な事業



リタイア世代の 生きがい支援事業

ボランティア会や遊びの会などを企画し、互いに交流が出来る機会とこれまでの経験を生かせる活動の場の提供

地域拠点型一般介護予防事業 デイサービス『あいの会』

どなたでもお気軽に立ち寄って頂ける高齢者サロンを毎週水曜・土曜日に開催しています。神戸市の委託事業です。介護予防プログラム・趣味活動など

高齢者生活支援事業

独居高齢者、高齢者世帯に生活援助等を行い、高齢者が自宅で暮らし続けていくことを支援します。

あいのネット神戸 の ネットワーク

街角サロン活動

地域の誰もが気楽に立ち寄れる場所として、地域の人々に交流・会合・催しの場を提供します。

- ・社会人落語家 うさぎ寄席（偶数月の日曜）
- ・ミュージックランチ会（奇数月の日曜）
- ・ミュージックカフェ会（奇数月の日曜）等々

地域支援事業

地域と密にタイアップし、地域の活性化に協力します。

神戸・西元町のD51を守る会

2019年夏結成
元町タウン協議会の神戸駅東地区のクリーン作戦がきっかけで結成された。D51広場は草ぼうぼう、ゴミだらけでみすぼらしいD51がありました。

神戸駅前に保存されるD511072号機の来歴について



昭和18年2月27日付完成、日本車輛名古屋本店製造

- ▶ D51の中でも戦時型と呼ばれる後期のグループで、第二次大戦が激化する中、材料の不足、熟練工員の戦時徴兵などにより、日本の工業が大打撃を受ける中、製造された。
- ▶ 工程の簡素化、代用材料の使用などに当時の日本工業界の苦悩が伺える、現存する数少ない資料のひとつである。戦後、標準型に戻されているが、この機関車ではボイラー上の「蒲鉾ドーム」と呼ばれる蒸気溜が特徴です。D51 1072号機は製造後すぐに北海道へ送られ、函館、旭川、新得、池田、五稜郭、滝川と道内を転々とし、最後は室蘭本線追分機関区所属となった。



整備前 令和1年

現役中のD511072,室蘭本線追分機関区で使用されていた



国鉄蒸気機関車本線運転終焉の頃まで使用され、昭和50年12月、休車扱いとなり、現地で保管、翌3月に札幌の苗穂工場に送られここで、保管され、保存先を探していたという。

昭和51年4月13日、追分機関区は大火災とともに消滅し、営業用蒸気機関車はD51形4両、9600形1両が焼失、当時、国鉄で最も新しかった新車のディーゼル機関車とともに廃棄となった。この時、すでに札幌市の苗穂工場に保管されていた本機は難を逃れることになった強運の持ち主です。



同僚のD51603号機は火災で、スクラップになったとされていたが、大阪の共永工業に残存部分を引き取られ、その後、嵯峨野観光鉄道に譲渡、今も嵯峨野観光鉄道において前頭部のみの姿を見ることが出来る

湊川貨物駅に到着したD511072

当時の元町ライオンズクラブ（現神戸ホストライオンズクラブ）が創立25周年記念行事として国鉄最後の蒸気機関車をぜひ神戸市に」と神戸市に依頼し、国鉄に要請して、昭和53年5月27日、日本国有鉄道と神戸市の間は無償貸与契約が締結されました。現在も継続中です。同年7月15日、元町西広場（今のきらら公園）に向かう貴重な写真です。



三宮付近、臨港線を貨物列車につながれて湊川へ向かうD511072

神戸市在、奥清博氏撮影

当時の神戸市発行の パンフレット表

現在のきらら公園は、当時グリーン
広場と呼ばれていました。

平成4年、きらら公園から現在地に
移転、今に至る。
今現在の保有者は国鉄を引き継い
だJR西日本で、神戸市との無償貸
与契約も継続されている。

D511072

新製年月日●昭和19年2月27日

休止年月日●昭和50年12月10日

全 長● 19.73m

全 高● 3.98m

全 巾● 2.93m

全 重 量● 87 t

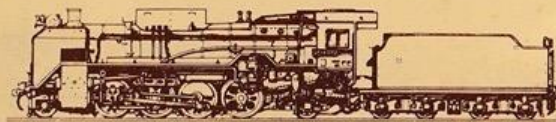
最 高 速 度● 85 km/h

・デゴイチ豆知識

D51蒸気機関車は、昭和11年に初めて登場し、10年間に一形式で最大量の1115両製作された。

D51は、その高性能と多両数とにより全国のあらゆる幹線で活躍したもので日本の代表的SLに挙げられる。

昭和50年末にSLはその使命を全うしたがD51 1072 は最後まで活躍した数少ないSLの1両である。



蒸気機関車のある広場

グリーンD51

昭和53年7月15日



神戸市

パンフレット裏

相生橋と蒸気機関車

- 明治7年神戸-大阪間に鉄道が開通し鉄道の上に木造の陸橋を架けた。当時の市民は、川の無い橋をめぐらしがり橋の上から蒸気機関車を見物したという。
- 明治43年市内電車が開通して相生橋の上を走り鉄道と立体交差をすることになった。このころ橋の西詰に「兵庫県里程元標」が建てられた。(現在は湊川神社の正門前に保存されている)
- 昭和6年省線(現国鉄)の高架化に伴い、相生橋を取り払い市電線を平面道路につけ替える工事が行われた。この難工事は予想以上の短時間に無事に完成したため沿線の家々では国旗を掲げ、大倉山では花火を打ち上げて、鉄道史上記念すべき快挙を祝福した。

▼明治初期の相生橋付近(神戸市立南區美術館蔵「神戸名所之内蒸気車相生橋之景」)



今の
保管場所

▼明治末期の市電が通りはじめた頃の相生橋(区誌「生田いまむかし」から転載)



▼昭和初期の相生橋付近(「こうべ元兎100年」から転載)



▼昭和52年「グリーンD51」整備工事施工当時



▼昭和63年「グリーンD51」完成予想図



コンセプト

鉄道の日イベント期間に、D51を中心としたイベントを開催する事で、Withコロナの家族連れ、行楽客、観光客、鉄道ファンなどを集客し、さらにデコイチのライトアップができれば、夜の来訪者も増え、地域の施設への集客が期待できる。

神戸駅のデコイチは、東海道本線の終点近くに保存されている神戸市の貴重な資産である。デコイチ広場周辺はタワーマンションの建設による人口の増加が続いており、神戸駅前の移動人口が増える今こそ、都市フロント部分の衰退、老朽化をなんとかデコイチを活用してストップしたい。岩見沢が最終配置場所




東京新橋駅のC11292は駅前のシンボルとして広く親しまれており、夜にはライトアップされ、待ち合わせの場所としてよく知られている。姫路が最終配置された場所

将来的に東西でコラボイベントが出来る事を期待する。



	新橋C11292	神戸D511072
保管場所	新橋駅日比谷口	神戸駅南口
製造年	1945-2	1944-2
製造所	日本車輛名古屋	日本車輛名古屋
当初配置	姫路	岩見沢（記録に残るもの）
最終配置	姫路第一	追分
保存場所との関連	無関係	無関係



新橋駅のC11の他に鉄道車両を地域のシンボルとして活用されている例はほかにもあります。

単なる保存ではなく**街のシンボル**として広く活用されている例として三つあげます。

- 1 ・ ・ 東京・渋谷駅前の5001号電車。
- 2 ・ ・ 石川県小松市小松駅前のクハ481-501特急電車
- 3 ・ ・ 岡山県西大寺バスターミナルのジハ7号気動車

いずれも産業遺産、あるいは地域のかつてのシンボルだったものとして大切にとり扱われています。

デコイチ君とコラボ

新型コロナウイルス感染症の影響で公共交通機関を使って外出する事がままならず、
外食も自粛自粛の毎日です。コロナ感染症の影響を受けた各交通機関と観光業界、飲
食業の冷え込みは尋常ではありません。

神戸駅前再整備に関するアンケートでは賑わい、華やかさが無い、シンボル性がない
と結果が出ていますが、近隣の人口はめざましく増加しています。（申請書3ページ）

神戸駅の乗降客の減少が顕著でしたが、ウミエの誕生で戻ってきています。（※HPの神
戸駅の乗降客推移グラフによる）（申請書4ページ）

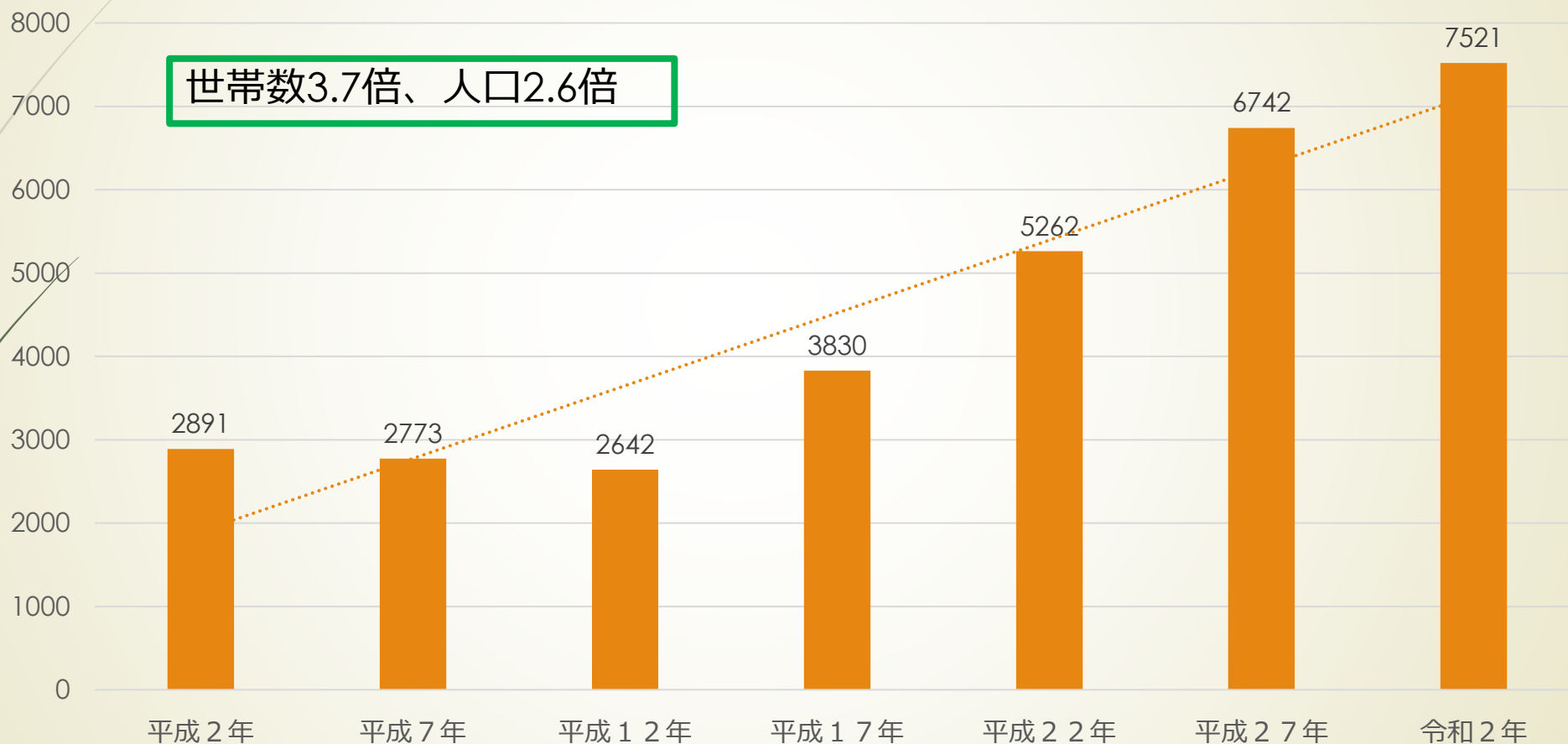
周辺の飲食店の売上減は周知の事実です。

そこで、少しでも神戸駅周辺の魅力アップの為にデコイチ君とコラボすべきです！

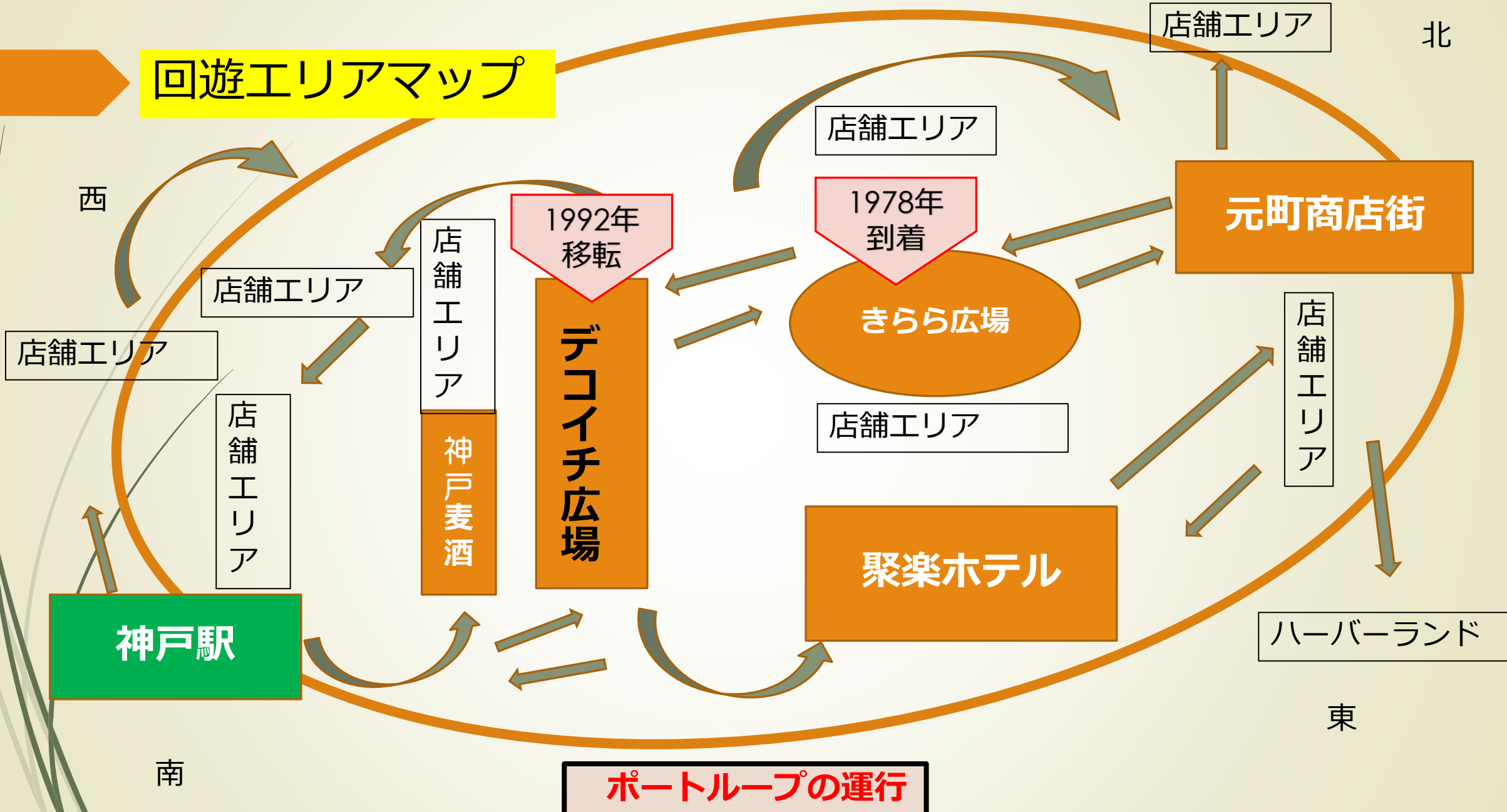
今年の「鉄道の日」の10月にD51を中心としたイベントを開催をして、Afterコロナ、
Withコロナの家族連れ、行楽客、観光客、鉄道ファンなどに神戸駅周辺に来て欲しい。
デコイチのライトアップをする事で、若い方々にデートスポットとして神戸の夜を楽
しんでいただきたい。

デコイチを起点とした人の流れをつくり、回遊してもらおう為の楽しいコラボです。

元町商店街周辺 第2・4地区人口 (神戸駅北側から商店街4丁目までの地域)



回遊エリアマップ



店舗エリア

北

店舗エリア

元町商店街

1978年
到着

きらら広場

店舗エリア

店舗エリア

1992年
移転

デコイチ広場

店舗エリア
神戸麦酒

店舗エリア

店舗エリア

店舗エリア

西

ハーバーランド

東

神戸駅

南

ポートループの運行

回遊エリア



神戸マラソン
コース帰り

地域案内・ 飲食店マップ作成

店舗名	神戸 麦酒	A店	B店	C店
	写真			
	クーポン券等			



事業補助金内の経費と事業終了後の継続利用について

事業期間

- ライトアップ機材購入費及び電気工事 → 継続利用出来る
- 広報宣伝費（マップ作成） → 事業者負担に変更
- 感染予防の為の備品他購入 → 継続利用出来る
- 告知媒体・宣伝広告費（HP・SNS・ポスター等） → 初期告知のみで不要

デコイちまつり

- チラシ・ポスター印刷費 → イベント終了後不要
- 会場設営費（テント・机他） → レンタル返却
- 音響機器レンタル費 → レンタル返却
- 出演者人件費 → イベント終了後不要

2019年10月第1回デコイチまつり

JR神戸駅に協力でポスターを掲示していただいた

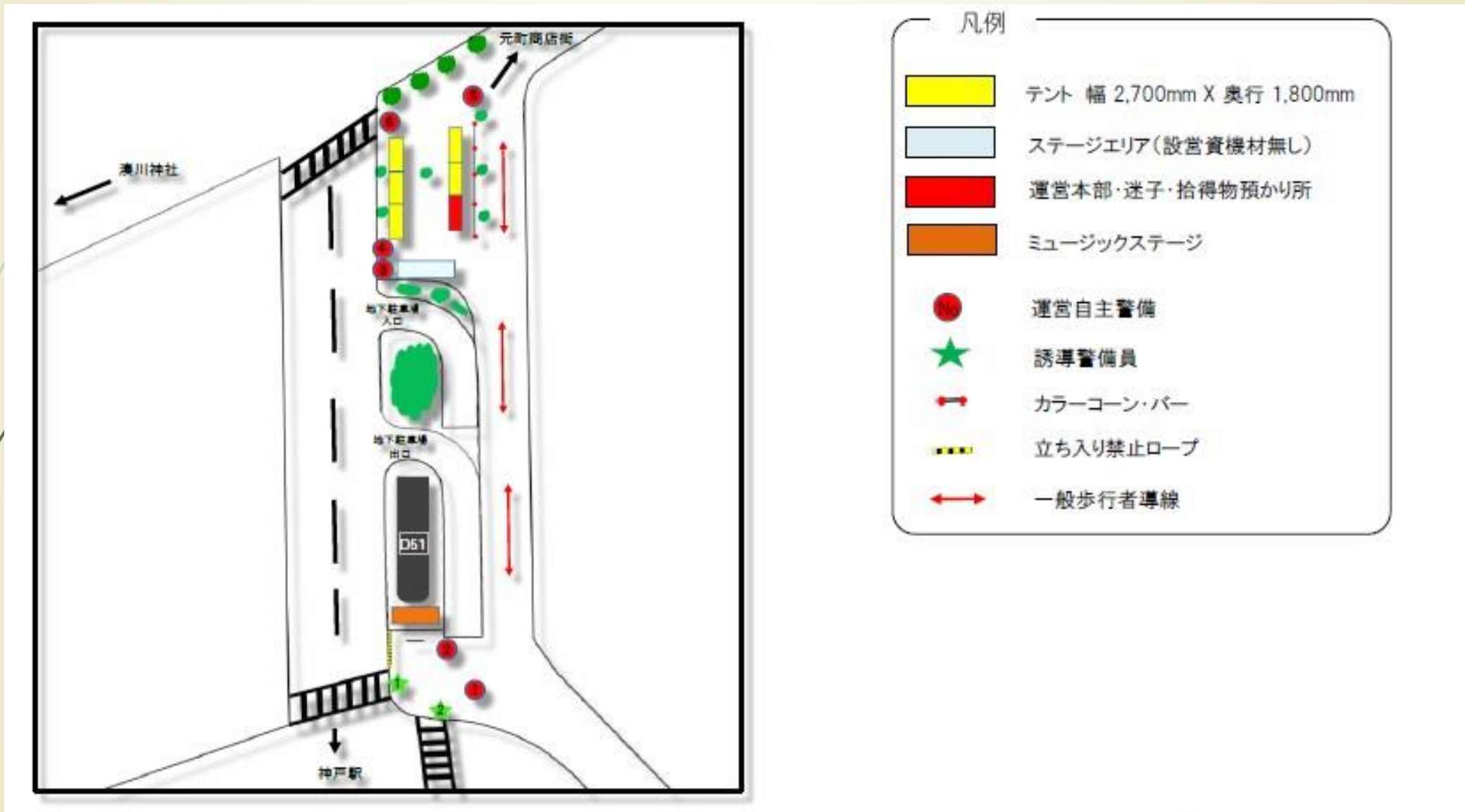


デコイチ前ステージ

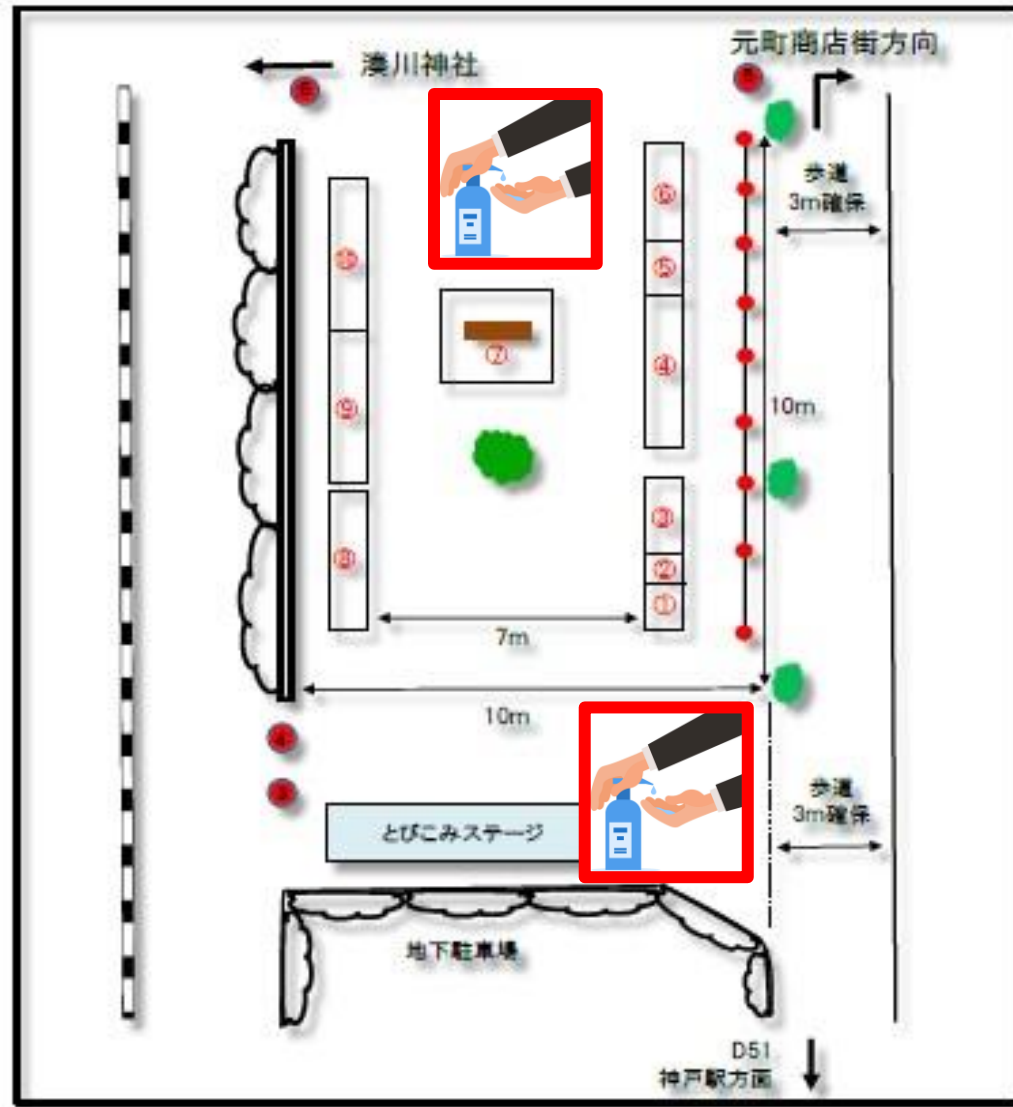


第1回デコイチまつり広場見取り図

2019年10月13日



第1回デコイチ広場配置図



凡例

☐ テント 幅 2,700mm X 奥行 1,800mm

☐ ステージエリア(設営資機材無し)

▬ 長テーブル
幅 1,200mm X 奥行 450mm

- ① デコイチパンフ (運営本部)
 - ② D101
 - ③
 - ④ アカマツトレイン
 - ⑤ ヨーヨー釣り
 - ⑥ 金魚すくい
 - ⑦ お絵かきコーナー
 - ⑧
 - ⑨
 - ⑩ 手芸雑貨
- 運営自主警備

コロナウイルス感染対策（屋外広場）

- ①全員がマスク着用
- ②手指消毒を徹底する
- ③テント、机などは1 m以上の間隔を空けて設置する
- ④ステージ上では大声を出さないようにし、客席などとの間に飛沫感染防止対策を講じる
- ⑤会場内にアルコール消毒液を数カ所設置
- ⑥備品に関しては、定期的な消毒を実施する
- ⑦会場内2カ所に接触確認アプリのインストールを促すQRコードを掲示しする
- ⑧スタッフは検温の上参加する事
- ⑨体調が優れない場合は参加出来ない事の看板を2カ所に設置し、啓発する事

2019年8月から2021年8月迄の活動

主なボランティアスタッフ：元国鉄職員、JR網干総合車両所、山陽電鉄幹部、鉄道車両設計技師、北神急行、阪急社員、川重社員南海鉄道社員など







飾りの変遷

令和1年12月クリスマス



令和2年正月



令和3年正月



令和2年12月クリスマス



令和3年1/31~2/14



令和3年7/4~18



令和3年4/25~5/9



令和3年7/18~

家族連れ見学者多数

パンフレットケースのパンフ30枚が一日でなくなりました。



神戸市のまちづくり方針が発表されました。

まちの個性や地域の活力を活かしたまちづくり

- ▶ まちの魅力を活かし、「にぎわい」をうみだすために
- ▶ 中央区への愛着をもってもらうために
- ▶ 地域の輪をつなげるために
- ▶ 地域の担い手や青少年を育てるために

区制40周年記念事業に参加希望！

神戸駅のD51が、東海道本線の終点の地に保存されていることを生かし、今できることを行っていけば、広く全国に知られ、神戸・元町の存在を改めてクローズアップする存在となるでしょう。

この機関車をさらに磨きをかけ、ライトアップして見学者に沢山の笑顔をプレゼントしたいと思います。電車が好きな地元子ども達を育てていきましょう。

同僚の機関車が消失した追分機関区の大火災から運良く逃れたこの幸運なD51は、大きな運を持っています。

神戸駅周辺が健在であることを 世間の人々に知らしめる大きな力を持った神戸市の財産であると思います。デコイチ君を地域のアイドルにして、当時の神戸市の熱意を復活したいと思います！